

Raspbian(buster)へのマルチドメインおよびサーバー証明書の構成メモ

サーバー証明書をLet's Encryptからcertbotを使って取得設定するには、ドメイン名がDNSによって名前解決されており、なおかつドメインを運用するサーバにHTTPでアクセス可能になっている必要がある。

ドメイン取得とDNS設定

ダイナミックDNSなどでドメインを取得し、DNSでの名前解決ができていることを確認する。NATの影響が煩わしい場合はIPv6(AAAAレコード)を設定したほうがいいかもしれない。

ドメイン例

1. www.domain1.jp
2. www.domain2.com

Apache2設定

まずApache2にドメイン設定を行う。Ubuntu系での設定例は下記の通り。

| Domain name | Document root | Apache conf |
|--|---------------------------|--|
| www.domain1.jp | /var/www/html/domain1.jp | /etc/apache2/sites-available/www.domain1.jp.conf |
| www.domain2.com | /var/www/html/domain2.com | /etc/apache2/sites-available/www.domain1.jp.conf |

設定例

[www.domain1.jp.conf](#)

```
ServerName www.domain1.jp
DocumentRoot /var/www/html/www.domain1.jp
```

ドメイン設定の有効化

設定ファイルを作成したら、設定の有効化を行う。

```
$ sudo a2ensite www.domain1.jp
$ ls -ltr /etc/apache2/sites-enabled/
```

設定ファイルに対するシンボリックリンクが設定されていれば、有効化されている。

サーバー証明書設定

サーバーへのhttpでのアクセスができていれば、certbotでサーバー証明書の発行からApacheのSSL設定までを行う。

```
$ sudo certbot certonly --webroot -w /var/www/html/www.domain1.jp -d www.domain1.jp -w /var/www/html/www.domain2.com -d www.domain2.com
```

From: <https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/> - Kijima's private wiki
Permanent link: https://kijima.mydns.jp/dokuwiki/doku.php?id=let_s_encrypt%E3%82%92%E4%BD%BF%E3%81%A3%E3%81%9F%E3%83%9E%E3%83%AB%E3%83%81%E3%83%89%E3%83%A1%E3%82%A4%E3%83%B3%E8%A8%AD%E5%AE%9A&rev=1685833633
Last update: 2023/06/03 23:07

